

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第70号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8732 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者: 吉用武史

はじめに

高知大学 地域連携推進センター Facebookページを開設

地域連携推進センターでは、センター活動を学内外の皆様へ発信し、センター活動に対するご理解とご協力を賜るため、本ニュースレターを毎月発行しています。この度、情報発信を更に即時性高く実現するため、新たにFacebookページを4月に開設いたします。

Facebookでは、各部門のイベントやニュースを頻度高く紹介いたします。Facebookページ名は「高知大学 地域連携推進センター」です。是非こちらもご覧いただきますようお願いいたします。

なお、本ニュースレターについては、内容をより充実させ、各部門の活動を更に詳細に紹介することで、高知大学における当センターの位置付けや高知県内への貢献など、学内外の皆様にご理解いただける内容へとバージョンアップいたします。それに伴いまして、次回以降、ニュースレターは内容充実のため四半期ごとの発行と致しますこと、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 土佐 FBC 第9期修了生 44名 修了式

Topic2. 平成28年度 地域協働ネットワーク会議

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. 土佐まるごと社中 第24回定例会のご案内

Topic2. ココイベント情報

p4 知的財産部門

Topic1. 知的財産部門主催「知的財産セミナー」
開催報告

Topic2. 先端計測分析技術・機器開発プログラム新技術説明会

p5 地方創生推進部門

Topic1. 全国ネットワーク化事業

平成28年度 COC/COC+全国シンポジウム
『地方創生と大学』

Topic2. 「COC+推進コーディネーター会議」開催

Topic 1. 土佐 FBC 第9期修了生 44 名 修了式

平成 29 年 3 月 16 日(木)、食品産業人材育成事業として実施しております「土佐フードビジネスクリエイター人材創出(土佐 FBC)」の第 9 期生修了式を執り行いました。平成 28 年度は土佐 FBC 第 9 期となり、新たに 44 名の修了生が誕生しました。

修了式では脇口学長から修了証書が手渡され、県内の食品産業への更なる貢献に対する期待が述べられました。

土佐 FBC は平成 20 年度から実施しており、これまでの 9 期で 425 名(学外教室含む)の修了生を輩出しました。平成 29 年度は第 10 期として、受講生の募集を開始いたしました。ご興味・ご関心ございましたら是非お問い合わせいただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

応募期限:平成 29 年 4 月 14 日(金) 17:00 必着

応募書類の請求・提出・問い合わせ先

高知大学物部キャンパス内 土佐 FBC II 企画運営室

TEL:088-864-5158・5138 FAX:088-864-5209 E-mail:tosa-fbc@kochi-u.ac.jp

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/~ckkc0001/tosafbc/>



Topic 2. 平成 28 年度 地域協働ネットワーク会議

大学と地域との協働を考えるための場として、「地域協働ネットワーク会議」を毎年開催しております。今年度は平成 29 年 3 月 5 日(日)14:00~16:30、高知城ホールにて開催いたしました。

今年度は学生活動に対する各種支援について、実際に支援を受けた学生団体等から支援内容や支援を受けた感想等について発表いただき、大学と地域との協働を促す支援のあり方について議論しました。

事例報告団体

- ・地域まちづくりプロジェクト「コンパス」
- ・Kochi Leaders Program
- ・高知大学映画制作サークル 21.

パネルディスカッション「地域協働を促す支援と期待」

パネリスト事例報告団体

高知市商工観光部商工振興課 中村 千栄子 氏

(株)高知銀行地域連携ビジネスサポート部 伊藤 泰彦 氏

ファシリテーター 高知大学総合科学系地域協働教育学部准教授 大槻 知史 氏

Topic 1. 土佐まるごと社中(TMS)第24回定例会のご案内

土佐まるごと社中(TMS)では第24回定例会を平成29年4月15日(土)に開催する予定としております。今回は、土佐 MBA オープンアカデミーの第2部の1つとして開催いたしますので、是非第1部も含めてご参加ください。

日時 平成29年4月15日(土) 15:10~17:10

会場 高知県公立大学法人 永国寺キャンパス地域連携棟 2階

プログラム(予定)

1. 松浦潤氏(株式会社リョウマまちづくり研究所)「土佐まるごと社中の活動紹介」
2. 瀬戸昌宣氏(嶺北高校教育魅力化特命官)「教育とは場づくりである」
3. 西内裕晶氏(高知工科大学システム工学群)
「地方都市の公共交通を考える ~持続可能なシステム構築に向けて」
4. 小野雄介氏(四万十町地域おこし協力隊)
「四万十町大正地区でのゲストハウスを拠点とした地域活性化への試み」
5. 杉野修氏(NPO 法人まあるい心ちゃれんじどの応援団)
「持続可能な安心社会のために:多重の仕掛けを織り交ぜた「減災ソーシャルびじねす」のトライアル:高知県に「災害弱者支援センター」を設立しよう!」
6. 山本真行氏(高知工科大学システム工学群)「津波を音波で捕まえる ~インフラサウンドセンサーの開発」
7. 澤田博睦氏(高知県産業振興推進部)「RESAS(地域経済分析システム)を事業戦略づくりに活かそう!」
8. 吉富慎作氏(土佐山アカデミー)「NARIWAI プラットフォーム土佐山アカデミーのこんなことやりたい!」
9. 矢野沙織氏(高知工科大学経済・マネジメント学群)※学生
「土佐山田の日曜市 ~地域と学生の協働による地域活性化の試み」
10. 鍵山武男氏(土佐龍馬の里)「高知県から県外、海外への物流に関して」

Topic 2. ココプライベント情報

高知県産学官民連携センター(ココプラ)が実施しているイベントを下記にてご案内します。いずれもどなたでも参加可能ですので、お気軽にご参加ください。なお、ココプライベントに関してはイベント情報サイトにて随時更新されていますので、ご興味ありましたらご参照ください(<http://www.kocopla.jp/event/>)。

[1]土佐 MBA オープンアカデミー平成 29 年 4 月 5 日(土)13:30~19:30

第1部:土佐 MBA イントロダクションセミナー&土佐 MBA ガイダンス(13:30~15:10)

「リクルートの人材育成」講師:富塚 優(株式会社リクルートホールディングス 執行役員)

第2部プレゼン大会&土佐 MBA 体験版(15:10~17:10)

○プレゼン大会

○土佐 MBA 体験版

第1会場:土佐 MBA 修了生

第3会場:エグゼクティブコース

第2会場:土佐まるごと社中

第4会場:目指せ!弥太郎 商人塾

[2]シーズ・研究内容紹介

高知県内5つの高等教育機関(高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知学園短期大学、高知工業高等専門学校)、公設試験研究機関等が持ち回りで、研究内容や取組等を紹介します。毎週水曜日 18:30~20:00 開催(原則毎月第2水曜日を除く)。申込〆切は開催2日前の月曜日。定員 36 名(無料)。

[3]経営者トーク

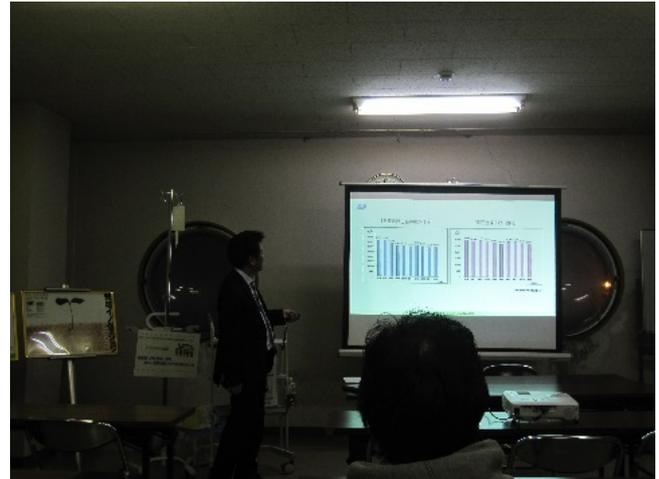
高知県内の経営者を講師に招き、創業のエピソードや企業の強み、今後の事業展開等を紹介していただきます。講師と参加者との意見交換やアイデア出しを通じて、参加者の皆さんに気づきやきっかけを提供するものとして開催しています。原則、毎月第3金曜日18:30-20:00開催です。

Topic 1. 知的財産部門主催「知的財産セミナー」開催報告

知的財産セミナーを平成 29 年 2 月 28 日(火)18 時 30 分より安芸商工会議所にて開催しました。

セミナーでは、下方知的財産部門長が、知的財産の基礎の説明及び大学の知的財産の活用事例や注目技術の紹介を行いました。地元の事業者及び自治体関係者等の参加があり、知的財産への興味の深さを伺い知ることができました。

また、講演後は希望者に対する相談会も行われ、多くの方の知的財産に関する相談に対応しました。



Topic 2. 先端計測分析技術・機器開発プログラム新技術説明会

平成 29 年 3 月 16 日(木)、JST 東京本部別館ホール(東京・市ヶ谷)において、「先端計測分析技術・機器開発プログラム新技術説明会」が開催されました。

高知大学からは、教育研究部複合領域科学部門 山田和彦准教授がプログラム名「分子レベルの解析に最適な核磁気共鳴(NMR)法を全ての研究分野に！」について発表を行いました。今回発表した技術は、高知大学、東京大学、京都大学、早稲田大学、山形大学、理化学研究所の 6 機関が共同で研究開発を行っているもので、物質の分子・原子レベルの構造解析や動的挙動解析等に用いられる NMR 法に関するものです。この技術によって、周期表上のすべての原子を事実上測定対象とすることが可能になると期待されています。

発表には 100 人以上の視聴者があり、発表後の名刺交換には、企業等からのアプローチがあり、今後の共同研究や技術移転への進展が期待されます。



Topic 1. 全国ネットワーク化事業 平成 28 年度 COC/COC+全国シンポジウム『地方創生と大学』

平成 29 年 3 月 6 日(月)～7 日(火)、高知市内において、文部科学省が進める「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC/COC+)」にかかる全国の関係者が一堂に会す「全国ネットワーク化事業 平成 28 年度 COC/COC+全国シンポジウム『地方創生と大学』」を開催しました。

シンポジウムの初日は、前地方創生担当大臣の石破茂衆議院議員から特別講演として全国的な地方創生の流れや国の動きが述べられました。また、産業界の立場から株式会社小松製作所相談役の坂根正弘氏には、デフレ脱却と地方創生に関する基調講演をいただきました。

その後に行われた基調討論では、社会技術研究開発センター、高知県産業振興センター、(株)Nextremer からパネリストをお招きし、「先進技術と地方創生」をテーマに議論が行われ、地域課題を解決する手段として現在期待される先進技術の社会実装を通じた雇用創出、及び、求められる人材育成の重要性が認識されました。さらに、26 機関によるポスターセッションも開催され、多くの関係者が展示内容について興味を示していました。

2 日目には、高知大学を含む4つの実施機関(富山県立大学、宮崎大学、岐阜大学、高知大学)による事例報告やランチョンミーティングが行われ、事業成果の情報共有を図るなど全国ネットワーク化事業の今後の発展を強く感じられる内容となりました。

本シンポジウムには、大学関係者を中心に、自治体・企業等から 430 名を超す参加がありました。2 日間を通して、地方創生に対して高等教育機関である大学が果たす役割を考えるとともに、全国各地で実践されている優れた取組が共有され、大変有意義なシンポジウムとなりました。



Topic 2. 「COC+推進コーディネーター会議」開催

3 月 7 日(火)、「COC+推進コーディネーター会議」を高知市内で開催し、全国の COC+に取り組む大学から COC+推進コーディネーターが参加しました。

COC+推進コーディネーターは、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」において、事業協働地域における雇用創出や事業協働地域への就職率向上に向けた取組みを進めています。

多様な地域や機関と連携し、成果につなげていくためには、多くの課題があることから、それぞれが抱える課題や悩みなどを共有し、解決策の模索を行うことを目的に、このたび初めて「COC+推進コーディネーター会議」を開催しました。

会議では、参加者から事業の認知度の低さや雇用創出の難しさ、地域や機関との連携のあり方など、多くの課題が出され、意見交換が行われました。

また、今後のネットワークのあり方も議論され、来年度も全国会議を開催するとともに、地域ごとにコーディネーター会議を開催し、課題解決に向け連携していくことが確認されました。

